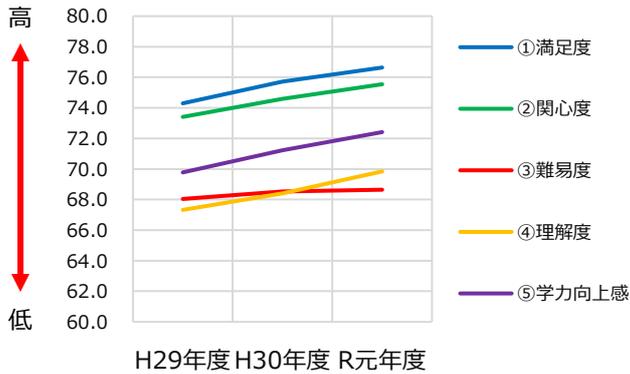


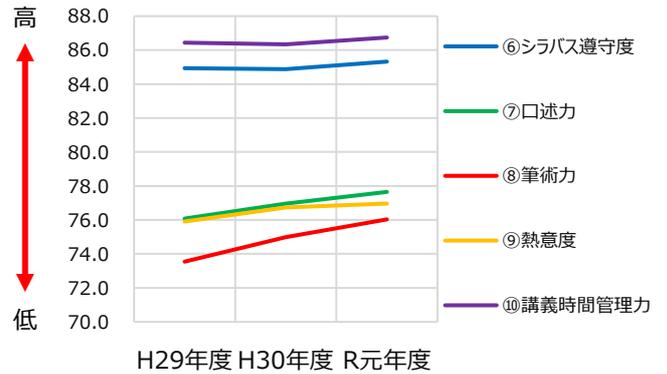
八戸工業大学 授業評価結果全学平均値（経年変化）

授業評価アンケート（設問①～⑤）



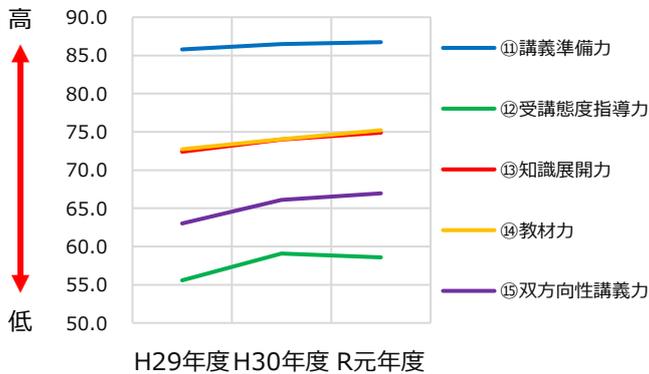
	①	②	③	④	⑤
H29年度	74.3	73.4	68.0	67.3	69.8
H30年度	75.7	74.6	68.5	68.4	71.2
R元年度	76.6	75.5	68.6	69.8	72.4

授業評価アンケート（設問⑥～⑩）



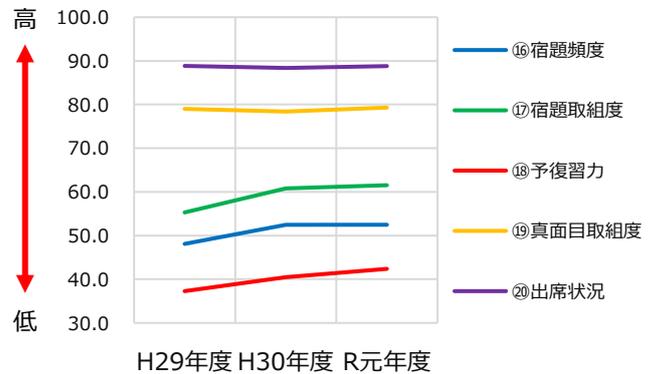
	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
H29年度	84.9	76.1	73.5	75.9	86.4
H30年度	84.9	77.0	75.0	76.7	86.3
R元年度	85.3	77.7	76.0	77.0	86.7

授業評価アンケート（設問⑪～⑮）



	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
H29年度	85.8	55.6	72.4	72.7	63.0
H30年度	86.5	59.1	74.0	74.0	66.1
R元年度	86.7	58.6	74.9	75.2	67.0

授業評価アンケート（設問⑯～⑳）



	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
H29年度	48.1	55.3	37.3	79.0	88.8
H30年度	52.4	60.8	40.5	78.4	88.4
R元年度	52.5	61.5	42.4	79.3	88.8

H24年度より全科目対象に授業評価アンケートを実施し、これまでアンケート設問の内容・表現の改善、設問数の増加、さらにH25年度に一部のアンケート設問及び回答の内容の改善を重ね、R元年度も同様のアンケート形式にて授業評価を行った。ここでは、H29～R元年度の各設問の平均値と比較するとともに、R元年度の授業評価について傾向をまとめる。

グラフから読み取れるようにH29年度の授業評価結果に対し、H30年度およびR元年度の授業評価結果はほとんどの項目の数値が上昇していることが特徴である。これにより授業改善に一定の成果が得られたと考えられるが、一部の設問がH30年度から下がっているため、今後さらなる改善を要する項目があり、これらを各数値から考察する。

⑯宿題頻度、⑰宿題取組度、⑱予復習力については、項目全体としてはそれぞれ例年低い数値を出していたが、H30年度からは上昇傾向となり改善成果が表れている一方、⑥シラバス遵守度、⑩講義時間管理力、⑪講義準備力、⑲真面目取組度は多少の増減はあるものの、ほぼ一定の値で推移している結果となっていることから、更なる改善が必要である。

なお、回答率については例年80%前後であったがH30年度から上昇傾向となり、R元年度は96%の回答率を得た。引き続き入力指導等を含め回答率100%を目指すとともに、設問の一部にある自由記述欄に書かれた授業に対する学生の率直な意見等を含め、毎年実施している授業評価アンケートの結果を今後の授業改善や教育改善につなげていきたい。